平成 29 年度　事業計画

一般社団法人横浜みなとみらい21

平成29年度　事業計画

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

当社団は、みなとみらい２１地区の街づくりに関わる多様な主体が一体となってエリアマネジメントを実践することにより、当地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図り、もって活力あふれる国際文化都市・横浜の発展に寄与することを目的として、平成 21 年度から事業を開始しました。

これまでの間、会員の皆様とともにエリアマネジメント活動を実践し、その取組の中から地区の課題等を認識しつつ、着実に事業を推進してきました。今後も当地区の更なる発展に繋げていくため、引き続き会員の皆様とともに「街をつくり・育てる」仕組みづくりに取り組んで参ります。

平成 29 年度の事業計画では、「防災対策」、「環境対策」、「情報発信」の分野を重視し取組を進めて参ります。「防災対策」については、防災エリマネ推進委員会のこれまでの成果を取りまとめ、都市再生安全確保計画を策定します。「環境対策」については、地区内における緑・花の充実や生物多様性に関する取組、環境意識の啓発等多様な活動を展開し、環境未来都市としての取組を推進します。「情報発信」については、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえ、昨年度策定した、訪日外国人に対応したアクションプランを軸に活動するほか、街全体の魅力を積極的に情報発信していきます。また、会員や就業者の交流の機会の創出にも取り組んで参ります。

横浜都心電波対策事業においては、調査・対策を適切に実施し、広告・イベントスペース等運用事業においては、収益の向上に繋げるため、利便性や稼働率の向上に繋げる取組を引き続き検討・実施して参ります。

これら各事業の推進にあたっては、委員会や部会等の開催、会員アンケートを通していただいた、会員の皆様からのご意見を踏まえ、情報共有を図るとともに、重要性や緊急性を考慮して限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう、効率的な事業執行を行っていきます。

１　事業構成

次の事業を柱としてエリアマネジメントを推進しています。（詳細は次頁以降に記載しています。）

（１）エリアマネジメント推進事業

ア　街づくり調整事業

イ　環境対策事業

ウ　文化・プロモーション事業

エ　その他事業（会員交流事業）

（２）横浜都心電波対策事業

（３）広告・イベントスペース等運用事業

２　社員総会及び理事会の開催

（１）社員総会

定時社員総会を６月に開催します。

（２）理事会の開催

定例理事会を年３回開催します。（6 月、11 月、３月）

街づくり調整事業　22,500 千円

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい２１地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。また、取組内容の情報発信にも取り組みます。

○ 安全・安心な街づくり

◇みなとみらい２１地区における地震対策の推進　8,500 千円

【 企画調整部・総務部 】

東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、みなとみらい２１地区の災害に強い街としての強みに加え、エリアマネジメントを推進しているという特徴を活かして、地区内関係者が連携する『共助』の取組を進め、災害に対してより強靭で『安全・安心な街』の実現を目指します。

平成 29 年度は、引き続き「みなとみらい２１防災エリマネ推進委員会」において検討を進め、共助による帰宅困難者対策の推進等を図るとともに、これまでの成果等を取りまとめ、『都市再生安全確保計画』を策定します。

①都市再生安全確保計画の策定

28 年度に実施した基礎調査を踏まえ、都市再生特別措置法に基づく「地区内の滞在者等の安全の確保等を図る」ための『都市再生安全確保計画』の策定を行います。

②帰宅困難者受入対策等の推進

地区内各施設が連携・共同して帰宅困難者等を受け入れる仕組みとして、28 年度創設した『帰宅困難者一時滞在施設登録制度』について、行政と緊密に連携を図りながら本格的な運用を進めるとともに、『登録』施設の拡充を図ります。

また、災害時の情報受伝達や帰宅困難者対応を地区内で連携しながら円滑に行うための基本事項を取りまとめた『災害時行動ガイド（28 年度策定）』について、引き続き、その運用・周知を進めるとともに、策定後の検討を反映して更新を図ります。

さらに、帰宅困難者支援ガイドについても、『登録制度』の運用状況等も踏まえ、更新を図ります。

〈 災害時行動ガイドと帰宅困難者支援ガイド 〉

③情報受伝達体制の強化

地区内の各施設や行政機関等を連絡する情報受伝達体制の強化に向け、横浜みなとみらい２１のインターネット・ホームページに開設している『災害時掲示板』について、より使い勝手のよいシステムに改良を図るとともに、引き続き、複数の伝達手段の確保に向けた検討を進めます。

④合同防災訓練、防災講演会等の実施

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、防災エリマネ推進委員会の活動と連動、検討成果を反映しながら、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練を実施します。

また、意識啓発のための防災講演会等を引き続き実施します。

＜参考：平成 28 年度訓練内容＞

・情報受伝達訓練（SNS 等の訓練を含む）
・帰宅困難者受入訓練
・負傷者搬送及び応急手当訓練
・屋内消火栓放水訓練及び消火器訓練
・災害用地下給水タンク操作訓練
・起震車体験訓練
・煙通路体験訓練

＜ 帰宅困難者受入訓練 ＞

○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

◇みなとみらい２１街づくり状況の各種調査 **2,500 千円**

【 企画調整部 】

来街者調査や進出企業調査等を継続的に実施し、エリアマネジメント活動の基礎資料とします。調査にあたって、社会情勢にあわせた諸条件の見直しのための調査も行います。

◇みなとみらい２１地区における交通対策等の検討 **－**

【 企画調整部 】

地区内の利便性、回遊性向上による賑わい創出等に向けた交通対策の検討を行います。

平成 27 年度に駐車場条例の改正、28 年度に地区別基準の策定が行われ、当地区における事務所用途の付置義務駐車台数緩和が図られました。さらに、29 年度は、隔地駐車に関する地域ルールの策定を進めます。

また、みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランを踏まえ、エコ・モビリティーの普及促進に向けた検討を行います。

◇駐車場案内システム協議会の運営 **－**

【 企画調整部 】

平成 28 年度に引き続き、駐車場案内システムの運用を進めるとともに、協議会への参画を推進します。

○ 街づくりの誘導・調整、情報発信

◇みなとみらい２１街づくり基本協定の運営【中央地区】 **2,500 千円**

【 企画調整部 】

みなとみらい２１中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づくりに関するルールである「街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、より魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

また、基本協定のより適切な運営や、多岐・多様なテーマに優先順位をつけながら、戦略的な街づくりを進めるための方策等の検討を行います。

◇「みなとみらい２１インフォメーション」等の改訂 **3,000 千円**

【 企画調整部 】

企業誘致や様々な視察対応等に備え、当地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい２１インフォメーション（冊子）」等を制作します。インフォメーションに続き、映像についても平成 28 年度に大幅に刷新していますが、29 年度は冊子の改訂を行うほか、マスタープランのデータ更新等を行います。

◇エリアマネジメント活動助成事業 **3,500 千円**

【 事業推進部 】

当地区内でエリアマネジメントに資する活動を行う団体を募集し、有識者による選考委員会と会員企業による公開選考委員会の審議を経て、資金を助成する活動団体を決定し、助成します。最大 50 万円まで助成可能な「みらいコース」とより応募し易い最大 5 万円までの小額助成コース「みなとコース」を設け、新規応募者の開拓を進めています。

また、平成 28 年度採択した助成団体が活動成果について発表し、相互に交流するための場として、助成活動成果報告会を開催します。

＜参考：29 年度　助成団体と提案概要＞

◆　みらいコース

団体名【事業名】	提案概要
高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト 【“世界の子どもたちに笑顔を届ける！ぬいぐるみ”】	校内で栽培した綿や余った布でぬいぐるみを作成し、クリスマス時期に地区内２カ所で展示した後、世界の子ども達に寄贈。
大道芸ボランティアの会 【桜木町駅前どこいき隊】	桜木町駅前での道案内を基本とした観光案内ボランティアの実施。隊員の高齢化固定化対策として隊員養成プログラムを実施。
路上芸術祭実行委員会 【チョークで街に絵を描こう@みなとみらい】	公開空地等の公共空間を活用した、誰でも気軽に描くことができる参加型チョークアートイベントを実施。
みなとみらい ごはん部 【MM21 エリア住民参加促進プロジェクト】	料理教室を通じた地域コミュニティづくり。地域住民の参加促進のプログラムを拡充して実施。
NPO 法人ハマのトウダイ 【ハマのパークキャラバン 2017　みなとみらい】	公園において、ペットとともに防災宿泊体験会等の実施と、アウトドア会議室体験を実施。
みなとみらいでポニーと遊ぼう！準備委員会 【みなとみらいでポニーと遊ぼう】	小学生低学年までを対象に、ポニーの乗馬体験や餌やりなどポニーとのふれあいを主とした動物介在幼児教育を住民主体で実施。
NPO 法人横浜カーフリーデー実行委員会 【自転車でみなとみらいを遊ぼう！】	ベイバイクを利用したポタリング（自転車での散歩）ツアーの実施と、自転車の乗り方を学ぶ幼児期からの自転車教室の実施。

◇街づくり調整委員会（部会）の開催　　**100 千円**

【 企画調整部 】

新港地区、中央地区、横浜駅東口地区それぞれの開発の経緯や背景等の地区特性を尊重し、街づくりの方向性や課題、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

◇全国エリアマネジメントネットワークへの参画　　**400 千円**

【 企画調整部・事業推進部・総務部 】

平成 28 年度に発足した全国エリアマネジメントネットワークの諸活動に参画するとともに、全国の各団体と交流を図るなど、エリアマネジメント活動を進化させます。

○ みなとみらい２１地区の土地の公募業務

◇土地公募業務　　**2,000 千円**

【 企画調整部 】

当地区における横浜市所有の土地について、横浜市から開発事業者公募の業務を受託し、事務局としての業務とともに、誘致促進に向けた開発事業者への募集説明会を開催します。

環境対策事業　24,100 千円

みなとみらい２１地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、環境未来都市としての取組を推進します。

○ 環境未来都市の実現に向けた取組

みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランを踏まえ、プロジェクトチームの運営など、地区内関係者や横浜市・大学などと連携して、環境未来都市の実現に向けた取組を推進します。

また、この地区における環境への取組について、積極的に情報発信を行います。

◇みなとみらい 2050 プロジェクトの推進　6,000 千円

【 企画調整部 】

みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランを踏まえ、『グリーン』、『イベント』、『ＩＣＴ』、『エコ・モビリティ』の各プロジェクトチームでの検討成果を踏まえて地区内関係者や行政・大学等の関係者と連携して具体的な取組を実施します。

◇水環境向上及び生物多様性に関する取組　6,000 千円

【 企画調整部 】

平成 26 年 3 月から「きれいな海づくり」を目指し、横浜市やＮＰＯ法人と連携して汽車道沿い護岸に「実験場」を設置し、水質浄化及び生物多様性に関する取組を進めています。

アマモの発芽・育成や生物の生息種類数の増加等が確認され、本事業の成果が表れてきており、展示会等での情報発信も行っています。

29 年度は、引き続き、生物生息環境の保全、生物多様化・水質改善状況等の観測を続け、地区内外への周知･啓発を進めるとともに､事業の成果等を積極的に情報発信していきます。

また、「きれいな海づくり」や「生物多様性」に向けた新たな展開方策についても、関係者と連携して検討を進め、具体化を図ります。

〈 水環境向上・生物多様性観察会 〉

◇『緑・花』推進に関する取組　　8,000 千円

【 企画調整部 】

グランモール公園再整備については、平成 30 年春に本格供用開始が予定されていますが、環境未来都市にふさわしい発信力のある公園となるよう、また、この間の 29 年春開催の「全国都市緑化よこはまフェア」と効果的な連動が図られるよう、引き続き調整を図ります。

また、みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランを踏まえ、「まちかどの緑」プロジェクトの実施調整等を進めるとともに、「全国都市緑化よこはまフェア」開催等を契機とする地区内の更なる緑・花の充実に取り組みます。

< まちかどの緑：横浜美術館横 >

< 新港地区　花時計 >

◇地域緑のまちづくり事業　　500 千円

【 企画調整部 】

みなとみらい２１地区にふさわしい緑化等を地域ぐるみで進めるため、横浜市からの助成を受け、中央地区、新港地区及び横浜駅東口・中央地区の 3 地区において協議会を立ち上げ、取り組んできています（中央地区は平成 28 年度で終了）。引き続き２地区において、地域緑化計画に基づき、公共施設緑化及び民有地緑化整備を進めます。

また、29 年度は、地区内の植物をはじめ各種の生物の状況を紹介する冊子『水と緑の生き物のガイドブック』の活用を前年度に引き続き進めます。

＜参考＞

- 24 年度設立　　中央地区　　グランモール公園を中心とした緑化計画
- 25 年度設立　　新港地区　　新港中央広場を中心とした新港地区の緑化計画
- 25 年度設立　　横浜東口・中央地区　　みなとみらい大橋等の緑化計画

< こどもアドベンチャー観察会 >

< クイーンモール大懸垂幕 >

○ 環境意識の啓発に向けた取組

◇身近なエコ活動の実施、検討 **3,500 千円**

【 企画調整部 】

みなとみらい２１地区ならではの特色があり、多くの会員が参加できるイベント等の各種活動を展開します。

平成 29 年度は、みなとみらい 2050 プロジェクト　アクションプランのプロジェクトチームでの検討成果も踏まえ、「アースアワー」への参加によるライトダウン活動や会員企業が身近に取り組める活動を地区全体として推進するなど、環境意識の向上を図ります。

◇環境対策委員会（部会）の開催 **100 千円**

【 企画調整部 】

当地区の環境対策（地球温暖化対策等）を議論し、課題への対応などを検討する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

◇地区内の清掃活動の実施 **－**

【 事業推進部 】

当社団が事務局となり、周辺事業者及び住民等の参加を得て毎月１回、次のとおり、定期清掃活動を実施します。

活動主体	清掃箇所	実施日	参加者	制度
桜木町駅前広場活性委員会	桜木町駅前広場	第１水曜日	約 15 名	ハマロード・サポーター
新港地区賑わいづくり委員会	汽車道・運河パークほか	第２水曜日	約 15 名	みなとみどりサポーター
グランモール公園愛護会	グランモール公園	第３火曜日	約 100 名	公園愛護会

〈 新港地区での定期清掃の様子 〉

文化・プロモーション事業　50,000 千円

みなとみらい２１地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

○ 情報発信

◇インバウンド（訪日外国人）対応　7,000 千円

【 事業推進部 】

近年の外国人旅行者数増加、2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催等を踏まえ、シンクタンクコンサルティングのもと、ホスピタリティ向上部会を再編成し、ワーキングを進めて参りました。また平成 29 年 2 月には活動の一環として春節祭時期における訪日外国人アンケートにて最新情報を取得しており、以下のアクションプランを策定しました。

① 定期的な外国人域内アンケート調査の実施
② 各施設・店舗の店長等のインバウンド対応ホスピタリティ研修の実施
③ 東京都内での横浜・みなとみらい２１ＰＲ活動の実施

本年度はこれら施策を軸に活動していきます。

またパシフィコ横浜で行われる MICE 等多くの外国人訪日機会に合わせた試験的なイベントも企画・試行する等具体的に活動していきます。

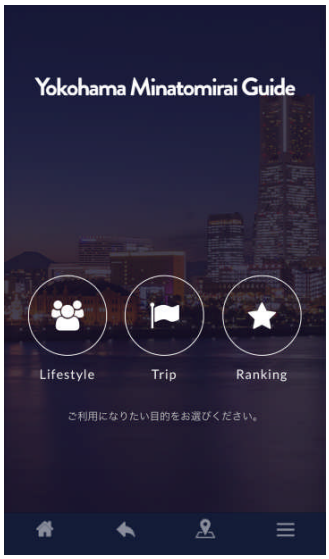
◇ウェブによる情報発信　7,600 千円

【 事業推進部・企画調整部 】

「みなとみらい２１公式ウェブサイト」は大幅なリニューアルを経て主要な情報発信ツールとして定着してきました。今年度もアクセス内容分析、スマホとの棲み分けといった施策を実施していき改善を継続していきます。同じく「YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ」の内容強化も引き続き行い、利用者数の増加を促進していきます。

「みなとみらい２１地区街づくりサイト」につきましても、リニューアル実施以降主として域内の建物や設備、エリアマネジメント助成等の情報を充実させて参りました。本年度は更に街全体の魅力を情報発信すべく記事更新のみならず全体的な質の改善も図っていきます。

さらに訪日外国人向けの英語サイトは 4 月より独立したものとして本格始動させます。随時内容のブラッシュアップを行い、横浜市による地区内 Wi-Fi 環境整備事業との連携を図って参ります。



＜ みなとみらい２１公式ウェブサイト ＞　　＜ YOKOHAMA　MINATOMIRAI　GUIDE アプリ ＞

◇広報誌による情報発信　　6,000 千円

【 事業推進部 】

・社団タイアップページ買い取り

平成 29 年度も、街のフリーマガジン『mirea（ミレア）』（「みなとみらい２１ＳＰ推進委員会」にて制作費一部負担）のページを買い取り、地区内の施設やエリアでの過ごし方などの情報を発信します。

＜ フリーペーパー　mirea ＞

◇ＰＲ活動の実施　　2,800 千円

【 事業推進部 】

平成 29 年度も広域からの来街誘引を図るべく、主要鉄道会社・交通機関の協力のもと、ポスター・チラシ等による広報 PR、情報発信をしていきます。特にボリュームゾーンである都内を中心とする交通系メディアの活用に引き続き取り組んでいきます。

「みなとみらいのお土産」についてはノベルティの開発を行っており商品候補の整理を進めています。今後は試験的な販売活動を行う一方、広く募集・発掘作業も行って参ります。

◇地区プロモーションの調整 **6,000 千円**

【 事業推進部 】

当団体は地区プロモーション活動の一環として平成 21 年 3 月発足以来「みなとみらい２１ＳＰ推進委員会」へ参画して参りました。その中で「みなとみらい地区の多様な集客施設の面的な訴求」、「集客エリアとしてのみなとみらい地区の競争力維持・向上」という当初の目的はほぼ達せられた一方、当地区の開発進行に伴い新たな企業が増え、コストの管理・考え方の変化が進み、制度や会の見直しの必要性も生じています。平成 29 年度は同委員会に参画しつつ、より効果的なＰＲ活動を行う仕組みについて会員皆様の意見を踏まえ見直しも図っていきます。

○ 賑わいの創出

◇公共空間の利活用 **8,800 千円**

【 事業推進部 】

平成 25 年度に発足した「みなとみらい２１公共空間活用委員会」により、平成 29 年度も、公開空地や桜木町駅前広場、グランモール公園でのオープンカフェや各種イベントを実施していくと共に、平成 28 年度に本格実施した「グランモール公園縁市」をさらに充実させるため、グランモール公園以外での実施についても検討していきます。

また、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する取り組みとしてクイーンズサークルで実施している「みなとみらい STREET MUSIC」では、実施場所をグランモール公園や桜木町駅前広場にも広げて実施しています。さらに出演者自ら運営し実施できる方法を、引き続き検討し確立していきます。

＜ みなとみらいストリートミュージック ＞

＜ みなとみらいストリートミュージック in 桜木町 ekihiro ＞

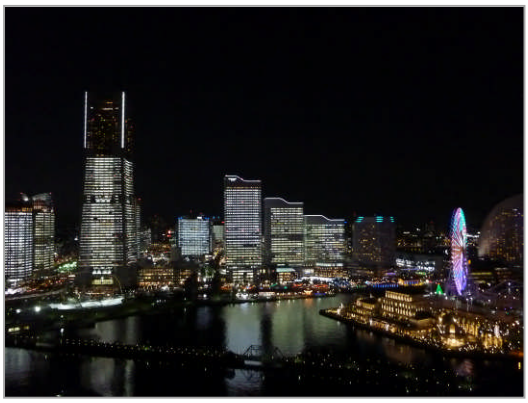
◇地区イベントの開催 **9,900 千円**

【 事業推進部 】

毎年恒例の「ヨコハマ大道芸」を 4 月に開催すると共に、春のさくらフェスタ、グランモール公園夏祭り、夏の大盆踊りに引き続き参画し、地区内の季節の風物詩としての定着を支援します。冬季には昨年度 20 回目を迎えた 12 月の「TOWERS Milight ～オフィス全館ライトアップ～」開催について、参加施設と協議しながら手続きを進めていきます。

また、当地区内各エリアでの賑わい創出のため、桜木町駅前広場活性化委員会、新港地区賑わいづくり委員会に積極的に参画します。

〈 ヨコハマ大道芸 2016 in みなとみらい２１ 〉



〈TOWERS　Milight ～オフィス全館ライトアップ 〉

○ その他

◇歩行者案内地図サインの更新 **500 千円**

【 総務部 】

当地区内に設置されている歩行者案内地図サインのうち、当社団が更新を担当する 9 基について、新規施設等の情報更新を行います。

◇文化・プロモーション委員会等の運営 **100 千円**

【 事業推進部 】

当地区のＰＲや公共空間利活用等の事業に関する情報共有や意見交換を目的として年 2 回開催します。

◇ガイドマップの制作 **1,300 千円**

【 事業推進部 】

平成 29 年度は新規施設の動向を踏まえ「みなとみらい２１地区ガイドマップ 61 版」を制作します。

◇イベント連絡会の開催 **－**

【 事業推進部 】

商業施設、ホテル、文化施設など、地区内の各集客施設が情報を共有し、相互連携を図るための場として、毎月 1 回、イベント連絡会を開催します。

◇インフォメーション担当者意見交換会 **－**

【 事業推進部 】

施設の案内受付担当者が、情報交換を行うための場として、定期的にインフォメーション担当者意見交換会を開催しています。昨年度は参加施設が増加して、より情報交換が活発化しており平成 29 年度もインバウンド動向等を中心に更に有意義な場となるよう対応していきます。

会員交流事業　6,400 千円

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

◇地区内情報等の提供　100 千円

【 総務部 】

地区内で行われるイベントやそれにともなう交通規制、各種工事、防災・防犯、行政機関からの情報など、みなとみらい２１地区に関連する様々な情報を会員及び施設設置者連絡会の参加企業に随時提供します。

また、必要に応じて地区内全体への周知を行うため、施設設置者連絡会を開催し、より詳細な情報等を提供します。

◇会員相互交流の機会の創出　2,300 千円

【 総務部 】

会員企業・団体のネットワーク形成や職員間の交流促進を図ることを目的に、みなとみらい２１賀詞交換会や救命講習会等を開催します。

〈 みなとみらい２１賀詞交換会の様子 〉

◇みなとみらいかもめ SCHOOL　4,000 千円

【 事業推進部 】

みなとみらい２１地区内の就業者を対象として、春学期（4～6 月）と秋学期（9～11 月）の年２回、就業前あるいは後の時間帯に手軽に学べる場を提供します。従来の講座から５講座を新講座とし、また、実践で他の参加者との交流がより深めることができる内容の講座を充実させました。より多彩な講座を新設し、魅力あるスクールを実施していきます。

＜参考：春学期講座内容＞

かもめスクール　講　座　名	
01 続・横浜の歴史を知ろう！ ～横浜市内の旧東海道、武相国境をたどる～	10 忙しい日々でも女子力UP！「BUKATSUDO」で メイクアップレッスン
02 都市デザイン」って何！？ ～馬車道編～	11 背すじピン助による～背すじピン！講座～
03 野毛山動物園の今と昔	12 曹洞宗大本山總持寺で参禅体験！
04 かながわ商店街ツアー ～東横線沿線編～	13 日本ナポリタン学会講座 横浜生まれのナポリタンを作ってみよう！食べてみよう！
05 JICA横浜で世界と出会う！ 異文化交流会＆国際協力・多文化共生を学ぶ	14 ～高級上海料理店「状元樓」で学ぶ～ 横浜中華街の楽しみ方講座
06 「状況判断と意志決定」 ～人はなぜ非合理な選択をしてしまうのか～	15 横浜ビール学～日本のビールは横浜から始まった～
07 これであなたも経済の今がわかる！ ハマのマネーコンシェルジュによる「金融入門講座」	16 天空の茶室でお茶体験
08 三菱みなとみらい技術館で学ぶ！世界に誇る日本のものづくり～国産ジェット旅客機MRJとロケットのひみつに迫る！～	17 家族でコンサートへ行こう！「大人のための音楽講座」と「5/5 こどもの日コンサート」鑑賞
09 気軽に参加してみよう！「みなとみらい読書交流会」	18 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！ 落語の楽しみ方、お教えします！

＜ 講座：続・横浜の歴史を知ろう！ ＞

＜ 講座:JICA横浜で世界と出会う！ ＞

横浜都心電波対策事業　167,050 千円

みなとみらい２１地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

◇電波障害対策事業の実施　162,550 千円

【 企画調整部 】

建物建設に伴うテレビ電波障害対策として、電波障害シミュレーションを行うとともに、事前・中間・事後の実態調査（電波障害受信状況調査）を行い、障害エリアを特定し電波障害対策工事等を実施します。

・新規街区開発に伴う電波障害シミュレーション及び実態調査（電波障害受信状況調査）
　56-1 街区、56-2 街区、54 街区、20 街区電波障害シミュレーション及び実態調査
・新規街区開発等に伴う電波障害対策工事等
　54 街区ほか
・旧受信点設備の部分的撤去工事

◇横浜都心電波対策協議会負担金　4,500 千円

【 企画調整部 】

「横浜都心電波対策協議会」の事務局運営経費として負担金を支出します。

「協議会」の事務局運営として、新たな街区開発の案件が生じた場合は、開発者負担金を確定するとともに、その他、基本協定及び協議会の運営に関連して発生する事項に対応します。

広告・イベントスペース等の運用事業　65,000 千円

◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用　65,000 千円

【 総務部 】

「クイーンズスクエア横浜　専有クイーンモール」等について、店舗や広告、イベントスペースとして貸し付け、快適で賑わいのある空間を創出するため、その利用権等を横浜市から借り受けます。「みなとみらいギャラリー」については利用者へのノウハウの提供や、円滑な貸し出しを行うため、その運営を外部へ委託します。

また、広告・イベントスペースの概要や活用事例等を紹介するパンフレットを活用し、引き続き利用率の向上に取り組みます。

＜ クイーンズサークルでのイベントの様子 ＞

＜ 広告・イベントスペースご利用ガイド ＞